

第3回 The 3rd Annual Meeting of Japanese Society of Drug Safety

日本医薬品安全性学会学術大会

会 期 2017年7月22日(土)・23(日)

会 場 ホテル メルパルク熊本

➤ 特別講演

「医薬品安全性を高めるための育薬の役割」

澤田 康文 (東京大学大学院薬学系研究科育薬学講座)

➤ 理事長講演

「医薬品の交差アレルギーを極める」

宇野 勝次 (共栄堂顧問/千葉科学大学薬学部客員教授)

➤ 大会長講演

「腎機能低下患者の医薬品の安全性を担保せよ

～なぜ重篤な有害反応が防げなかったのか～」

平田 純生 (熊本大学薬学部臨床薬理学)



➤ 教育講演

「よくわかる成人気管支喘息の治療とその副作用」

藤森 勝也 (あがの市民病院)

「医薬品副作用チェックのための機序別分類理論とその実践」

菅野 彊 (株式会社どんぐり工房)

「薬理的視点から考える副作用と相互作用」

山本 雄一郎 (アップル調剤薬局大津店)

「高齢者に安全な薬物療法を提供するコツと理論

～嚥下・認知機能低下患者へのマネージメント～」

森 直樹 (医療法人愛生会くまもと温石病院)

「腎機能障害と薬のちょっと危険な関係

～上手な付き合い方を探る～」

古久保 拓 (白鷺病院薬剤科)

「薬局薬剤師が主導する医薬品安全性対策

～薬局の“あたりまえ”を再考してみる～」

近藤 悠希 (熊本大学大学院薬剤情報分析学)



➤ シンポジウム

薬物療法の有効性・安全性向上に向けて薬剤師が果たす役割

オーガナイザー

佐藤光利(明治薬科大学医薬品安全性学研究室)

継田雅美(新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室)

- ・マグネシウム製剤が起こす有害事象とマグネシウム製剤による副作用対策
- ・産婦人科領域において薬剤師に必要な医薬品安全性に関する職能
- ・がん化学療法における副作用に対する「患者に優しい臨床製剤」の開発
- ・HIV 感染症領域における医薬品安全対策への薬剤師の関わり

佐藤光利

鈴木典子(共立習志野台病院薬剤科)

花輪剛久(東京理科大学薬学部)

増田純一(国立国際医療研究センター病院)

医薬品による過敏性障害について深く考える

オーガナイザー

宇野勝次(共栄堂顧問/千葉科学大学薬学部客員教授)

- ・薬剤性ショック
- ・薬剤熱
- ・薬疹
- ・薬剤性肝障害
- ・薬剤性肺障害

宇野勝次

古川智康(新津医療センター病院薬剤部)

蒲原毅(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

阿部学(新潟薬科大学薬学部)

藤森勝也(あがの市民病院)

薬剤性腎障害をいかに防ぐか ～多視点からのアプローチ～

オーガナイザー

打谷和記(関西医科大学附属病院薬剤部)

古久保 拓(白鷺病院薬剤科)

- ・薬剤性腎障害をいかに防ぐか？オーバービュー
- ・薬剤性腎障害の実例から学ぶ原因と対策
- ・機序からみた薬剤性腎障害の予防と治療
- ・リスクマネジメントからみた薬剤性腎障害の防止策
- ・薬局薬剤師が行う薬剤性腎障害防止のための服薬指導と生活指導

古久保拓

田中雅幸(関西医科大学附属病院薬剤部)

宮村重幸(熊本中央病院薬局)

有馬純子(鹿児島大学病院薬剤部)

大澤友二(ひまわり薬局)

精神科用薬のリスクマネジメントの実践

オーガナイザー

三輪高市(鈴鹿医療科学大学薬学部医療薬学、精神衛生薬学)

- ・認知症治療薬のリスクマネジメント
- ・大学病院としての精神科用剤への対応:総合病院として、大学実習施設として
- ・抗精神病薬のリスクマネジメント:LAIを含めて
- ・向精神薬(睡眠薬、抗不安薬)のリスクマネジメント

中村友喜(三重県立こころの医療センター)

佐々木典子(三重大学附属病院薬剤部)

根岸大喜(八代更生病院)

井上裕子(社会医療法人芳和会菊陽病院)

薬局薬剤師による医薬品安全性の担保を考える

オーガナイザー

近藤悠希(熊本大学大学院薬剤情報分析学)

- ・プレアポイド報告からわかる薬局の医療安全への貢献
- ・副作用から考える小児の服薬指導と安全性の担保
- ・身近なICTを活用した薬局薬剤師による医薬品安全性の担保-「副作用モニタリングシステム」について-
- ・「医薬品リスク管理計画(RMP)」を医薬品安全性の担保に役立てる!

伊藤謙(浜松市薬剤師会レモン薬局)

松本康弘(ワタナベ薬局上宮永店)

井上彰夫(ケーアイ調剤薬局)

近藤智子(山口大学医学部附属病院)

アセトアミノフェンの安全性を担保する ～最新の知見を含めて～

オーガナイザー

石塚洋一(熊本大学大学院薬剤情報分析学)

門脇大介(崇城大学薬学部医療薬学研究室)

- ・肝機能正常者に対する高用量アセトアミノフェン投与時の肝機能マーカーの変動
- ・アセトアミノフェンと腎障害の臨床
- ・システマティックレビューおよび医療ビッグデータに見るアセトアミノフェンの有効性と安全性
- ・血中滞留型抗酸化炎症モジュレーターの創製とアセトアミノフェン肝障害治療への応用
- ・アセトアミノフェンの腎保護効果

熊谷雄治(北里大学病院臨床試験センター)

平田純生(熊本大学薬学部臨床薬理学)

石塚洋一

渡邊博志(熊本大学薬学部薬剤学)

門脇大介

若手が考える医薬品安全 ～現場の隠れたリスクを発掘する～

オーガナイザー

柴田啓智（済生会熊本病院薬剤部）

近藤悠希（熊本大学大学院薬剤情報分析学）

- ・若手が考える感染と医薬品安全
- ・安全性と有効性を考慮した新規抗がん薬導入の経験
- ・若手が考える地域医療と医薬品安全 ～地域に寄り添う薬局薬剤師の活動～
- ・若手が考える遺伝子多型と医薬品安全
- ・若手が考える腎と医薬品安全

田中遼大（大分大学医学部附属病院）
吾妻慧一（がん研究会有明病院薬剤部）

狩野壮太郎（山鹿いちご薬局）

守田和憲（済生会熊本病院薬剤部）

吉田拓弥（白鷺病院薬剤科）

➤ ワークショップ

1. 腎機能評価ができるようになる実践ワークショップ

オーガナイザー

柴田啓智（済生会熊本病院薬剤部）

➤ 2. 重篤副作用早期回避のためのシミュレーション PBL ～在宅・病棟のリアル症例で学ぶ～

オーガナイザー

小茂田昌代（東京理科大学薬学部）

尾関理恵（東京理科大学薬学部）

古野喬志（大崎病院東京ハートセンター薬剤部）

➤ 医薬品安全性のための「よく分かるセミナー」

基礎

1. 「医薬品の副作用に影響を与える環境因子 栄養状態、食事・嗜好品、ポリファーマシー」
室井延之（赤穂市民病院薬剤部）
2. 「アレルギー起因薬同定試験の将来」
武藤里志（東邦大学薬学部）

薬剤師

3. 「ジェネリック医薬品の安全性評価」
外山聡（新潟大学医歯学総合病院）
4. 「医薬品安全性管理のための”かかりつけ薬局”の役割 在宅への第一歩、一包化の前に危険予知」
北川俊朗（はなみずき薬局）
5. 「在宅医療における医薬品安全性管理のための薬剤師の役割」
西園憲郎（調剤薬局オオバ）
6. 「医薬品安全性管理に果たす病院薬剤師の役割」
瀧裕介（菊川市立総合病院薬剤科）

副作用回避

7. 「薬疹を疑うとき—注目すべき症状と薬剤—」
蒲原毅（横浜市立大学附属市民総合医療センター）
8. 「医薬品による痒み」
齊藤幹央（新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室）
9. 「薬剤性光線過敏症 リスク予測と回避」
尾上誠良（静岡県立大学薬学部）
10. 「ポリファーマシーによる有害反応とその回避対策」
前田頼伸（中国労災病院薬剤部）
11. 「消毒薬の適正使用と安全管理」
継田雅美（新潟薬科大学薬学部）
12. 「薬剤性肝障害を基本から考える」
薄井健介（東北医科薬科大学薬学部）
13. 「薬剤性腎障害を考える」
小林道也（北海道医療大学薬学部）

薬効別

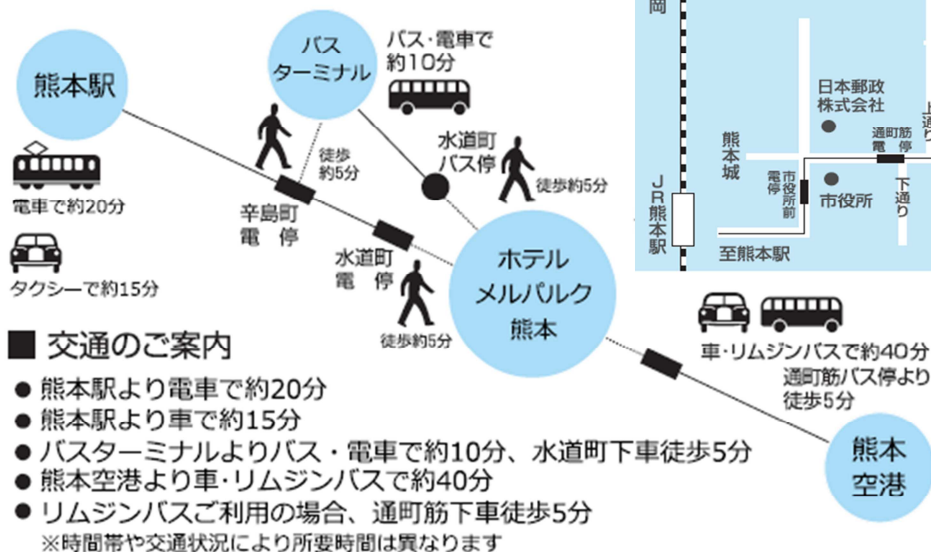
14. 「精神科領域の薬物相互作用」
猿渡淳二（熊本大学大学院薬物治療学）
15. 「循環器用薬の適正使用 —注意点と対処—」
小林賢滋（大崎病院東京ハートセンター）
16. 「経口抗凝固薬の適正使用」
徳永晃己（済生会熊本病院薬剤部）
17. 「抗体医薬の安全性」
佐藤光利（明治薬科大学医薬品安全性学研究室）
18. 「抗 MRSA 薬を適正に使用するために
—からだの中でのうごきと効き方の特徴について—」
福岡憲泰（日本大学薬学部病院薬学研究室）
19. 「抗がん治療における薬剤師の安全性への関与」
松尾宏一（福岡大学筑紫病院薬剤部）
20. 「がん化学療法における副作用管理環境の整備」
高柳和伸（倉敷中央病院）

安全性

21. 「医薬品の副作用と遺伝子多型」
北市清幸（岐阜薬科大学医療薬理学大講座）

➤ 会場について

会 場:ホテル メルパルク熊本
 住 所:〒860-0844 熊本県熊本市中心区水道町 14-1
 電 話:096-355-6311



➤ 参加費について

学術大会参加費

	会 員	非会員	学生会員	学生非会員
事前登録	5,000円	10,000円	無料	1,000円
当 日	8,000円	15,000円	1,000円	2,000円

懇親会費

	一 般	学 生
事前登録	5,000円	2,000円
当 日	6,000円	4,000円

日 時:2017年7月22日(土)
 19:00~21:00(予定)
 場 所:ホテルメルパルク熊本 2階 白川



日本医薬品安全性学会

熊本の夏は暑いです。クールビズでやりましょう！

【主 催】日本医薬品安全性学会
 【大会事務局】熊本大学薬学部臨床薬理学 担当者:門脇大介 (e-mail: rinyaku@kumamoto-u.ac.jp)
 〒862-0973 熊本市中心区大江本町 5-1 / TEL&FAX: 096-371-4856
 【運営事務局】株式会社 JTB ビジネスサポート九州 (e-mail: jasds2017@kys.jtb.jp)
 〒810-0072 福岡市中心区長浜 1丁目 1-35 新 KBC ビル 6F
 TEL: 092-751-3244 / FAX: 092-751-3250